

第6回リスクコミュニケーション講演会



床次 眞司 氏

東通村は、国策である原子力政策に協力するとともに、安全性の確保を大前提として、原子力との共生による村づくりを進めています。

しかし、福島第一原子力発電所の事故が発生してから、我が国のエネルギー政策は、数多くの課題が山積し、今後のエネルギー政策のあり方が大きな議論となっています。

また、原子力災害が発生した場合における対応や体制なども大きく変更され、さらに検討が進められています。

原子力災害が発生した場合には、国・青森県・東通村を含めた防災関係機関が連携し対応することとなりますが、村民の皆さんにも、村などからの指示に従い、冷静に行動していただく必要があることから、村では、様々な対応をしていくこととしています。

今回は、放射線測定・線量評価の専門家であり、青森県はもちろん、国内外の原子力災害医療や環境放射線モニタリングなどの委員を歴任している「床次 眞司 氏」をお招きし、ご講演していただきます。

どなたでも参加いただけますので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

◎演 題：『放射線による人体への影響』

◎講 師：弘前大学 被ばく医療総合研究所 教授(所長) とこなみ しんじ 床次 眞司 氏

講 師 略 歴

早稲田大学大学院理工学研究科物理学及び応用物理学専攻。博士（工学）。放射線医学総合研究所研究員、室長、この間に米国環境測定研究所客員研究員を経て、現在は弘前大学被ばく医療総合研究所放射線物理学部門教授。

その他、長崎大学・首都大学東京・中国湖南省衡陽師範学院・タイチュラロンコーン大学等の客員教授、国際原子力機関(IAEA)技術協力専門家、国際標準化機構(ISO)専門委員、国際電気標準会議(IEC)専門委員、福島県民健康調査検討委員会委員、浪江町除染検証委員会委員、青森県顧問、青森県緊急被ばく医療対策専門部会専門委員等を務める。

日 時：令和元年7月14日(日) 13:30~15:00
会 場：東通村防災センター（東通消防署）1階会議室

【参加方法】

参加希望者は、次の連絡先に、電話またはFAX等で、氏名・地区名・連絡先（自宅 TEL 等）を添えてお申込みください。

※申込者多数の場合は、会場の都合等によりお断りさせていただくことがあります。

【問い合わせ・連絡先】

東通村役場 原子力対策課

電 話：27-2111 FAX：27-2501

メールアドレス：gentai@vill.higashidoori.lg.jp